! C

flag = 0

x = 2

!d

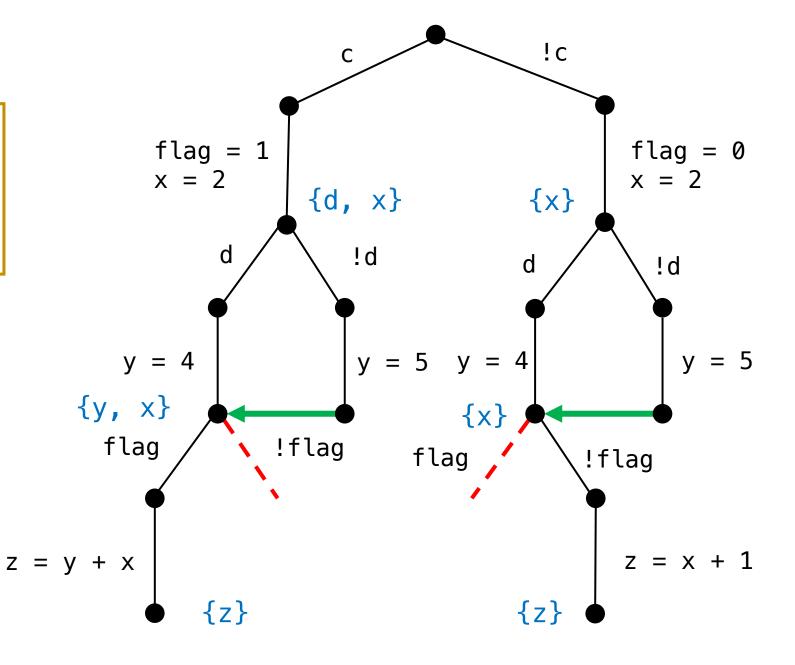
y = 5

z = x + 1

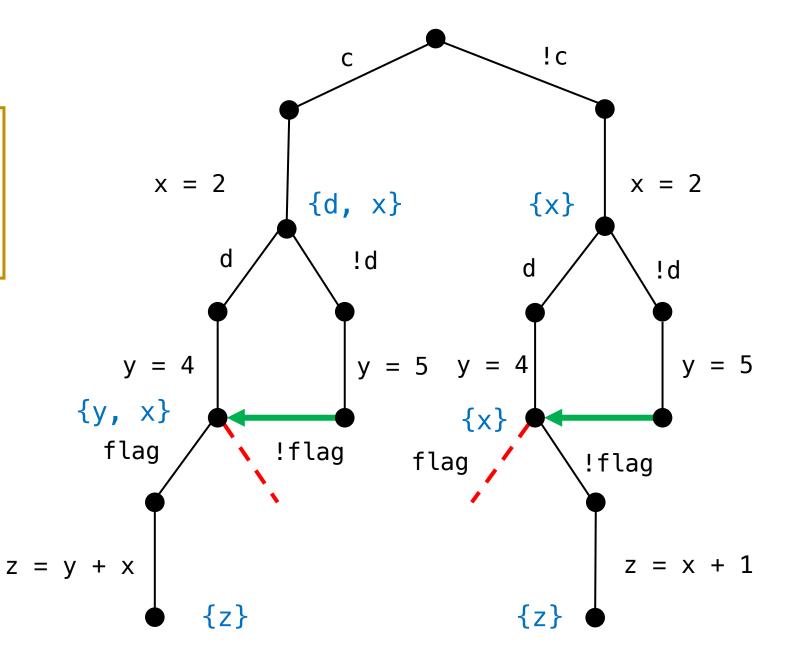
最終的な SE Tree

```
bool flag, c, d;
                                       flag = 1
     int x, y, z;
                                       x = 2
    if (c) flag = 1;
                                            d
                                                      !d
                                                                   d
    else flag = 0;
    x = 2;
                                     y = 4
                                                      y = 5 \quad y = 4
    if (d) y = 4;
     else y = 5;
                                   flag
                                                !flag
                                                          flag
                                                                       !flag
10
     if (flag) z = y + x;
11
     else z = x + 1;
12
                            z = y + x
     target: {z}
13
```

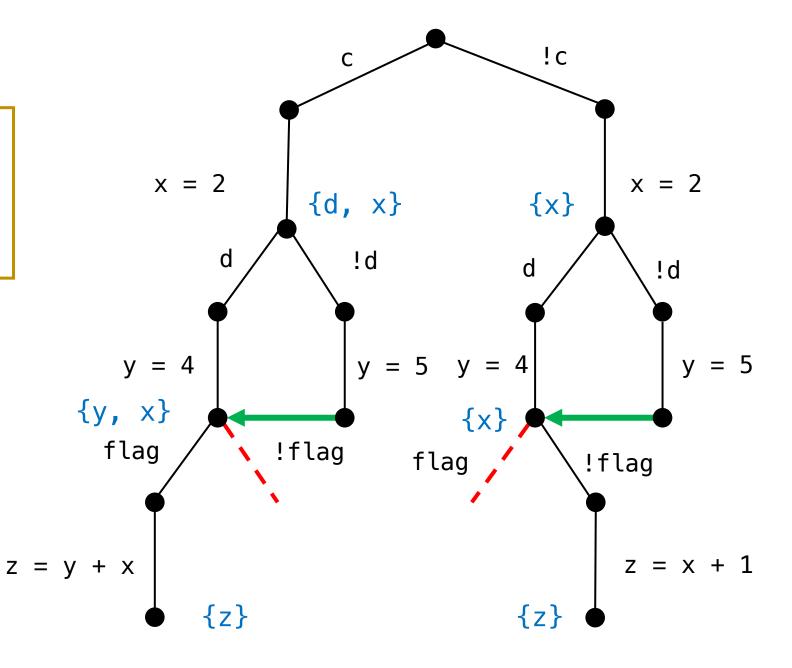
代入文の左辺がそれ以降の 依存集合に現れなければ その文を削除



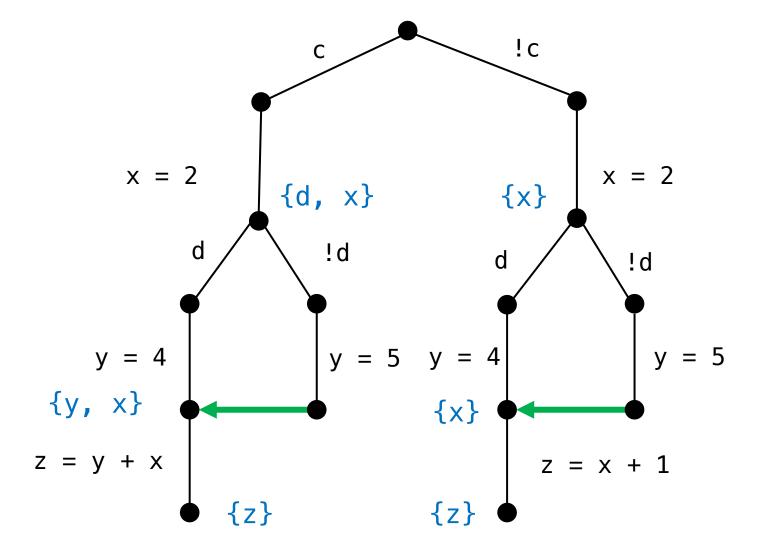
代入文の左辺がそれ以降の 依存集合に現れなければ その文を削除



ある分岐点からの実行可能 なパスが1つしかないとき その分岐を削除



ある分岐点からの実行可能 なパスが1つしかないとき その分岐を削除



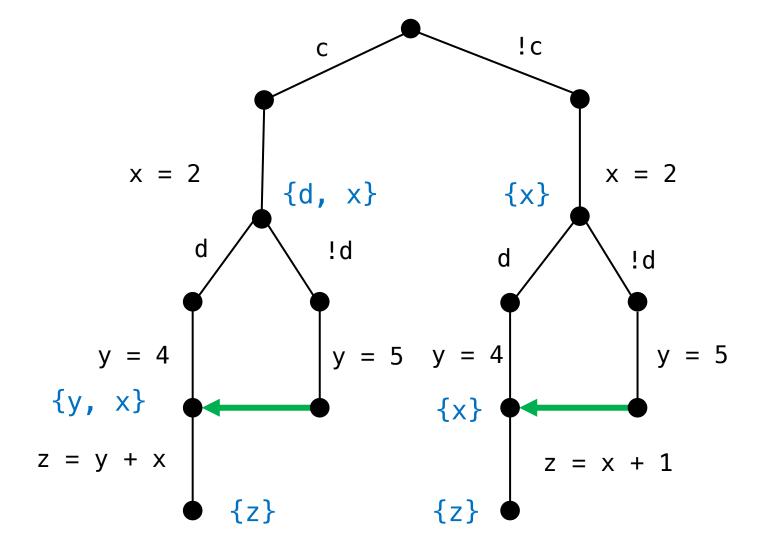
Tree Slicing

分岐の then, else 節両方に target 変数に影響を与える 文がない

かつ

分岐の合流地点がマージ されている

ときに分岐全体を削除



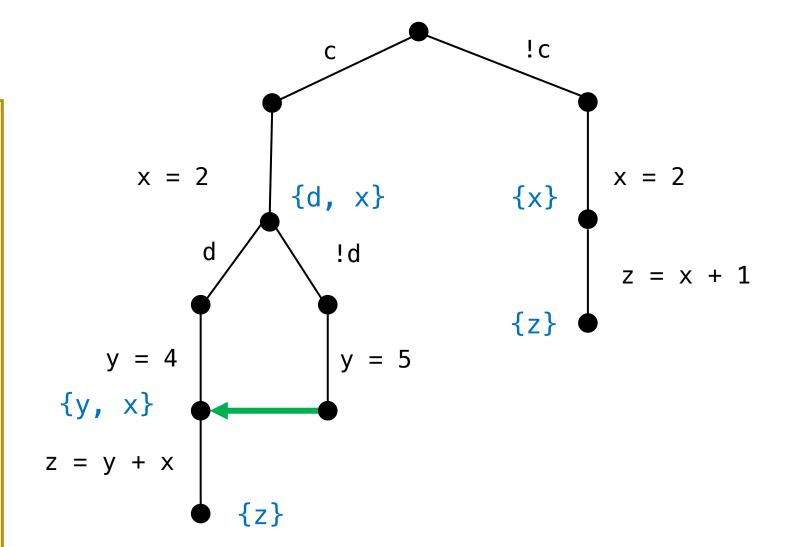
Tree Slicing

分岐の then, else 節両方に target 変数に影響を与える 文がない

かつ

分岐の合流地点がマージ されている

ときに分岐全体を削除



最終的な PSS-CFG

